

養を培ふだらう。

あゝ其堂々たる『日本労働會館』は、如何に新興労働階級の大威容を示すことであらうぞ！『日本労働會館』が、毅然として日本の労働組合運動の上にそびへ立ち、資本の牙城に迫つて築かるゝ時、始めて我等の労働組合は磐石の基礎に据へらるゝのである。

我等はどうしても『日本労働會館』を建設しなければならぬ！我等は如何なる困難も突破して之を築かねばならぬ。日本労働會館は、数ヶ月間毎月君の一合の酒、一箇の煙草、一杯のコーヒー、一度の活動見物を節約することに依つて、樂々と出来上るのである。日本労働會館建設運動は、君の階級意識の試金石だ！百の理論よりも一の實力、これ我日本労働同盟の本領だ。

(2) 日本労働會館建設要領

(建設費概略豫算)

収入の部
 一金八萬圓也 關東労働同盟會内部應募寄附金 一金拾萬圓也 一般應募寄附金
 合計 拾八萬圓也

支出の部
 一金五萬圓也 土地買收費 一金拾貳萬圓也 三階建總建坪約五百四十坪 一金壹萬圓也 設備費
 合計 拾八萬圓也

- 一、主なる設備
- (I) 大講堂を設け組合大會々場を使用し又は活動寫眞、劇等の娯樂的催もなすことを得る設備を整へること、(II) 道場(擊劍、柔道)を設けること、(III) 娯樂室を設けること、(IV) 簡易なる宿泊室を設けること、(V) 地方組合員の爲めに消費組合の買店を設けること、(VI) 圖書室を設けること、(VII) 總同盟本部始め、加盟組合の事務室を設けること、
- 二、建設費募集方法

一、組合員より寄附を募集する最低據金額一名に就き、男 四圓以上 女 三圓以上——二十四ヶ月以内の月賦たることを得

建設委員會の組織

各組合支部各一宛名の建設委員に依つて組織し、若干名の幹事、常任幹事、會計監査役、一名の委員長を置く。三、廣く組合員以外より寄附を募集する爲め左の發起人諸氏に依つて『日本労働會館建設後援會』が組織され、あらゆる階級の共鳴者より募集運動を開始することとなつて居る。

(3) 建設委員氏名

(東京總工組合)	岩佐 順藏	荒川 昇	近藤 銀太郎	天野 幾太郎	白崎 文五郎
菅野 貞良	波邊 正志	田中 芳太郎	乃木 軍治	鈴木 重藏	鈴木 瀧次郎
佐藤 九一郎	坪井 守三郎	柴田 常松	清水 國明	渡邊 美一	右瀧 直衛
宇田 虎雄	土井 留次	藤 乘 中	藤原 久之進	後藤 彌五	天野 芳夫
池田 精好	神林 榮作	山 越 頼善	山下 喜代治	佐々木 正人	
(中央合同労働組合)	齋藤 勘五郎	島村 新太郎	植澤 統之助	境野 寛義	佐藤 庄三郎
服部 儀作	長島 平一郎	高橋 金吉	藤井 藤次	稻葉 戒境	
(東京工組合)	高野 幸治	山田 安三	高橋 與之助	浦山 源三	高橋 茂
(紡織労働組合)	府川 十作	吉田 祐太郎	坪井 貞作	岩崎 一郎	
(日本同本會)	稻毛 武一	松本 泰次	戸島 豊治	鈴木 秋野	五十嵐 進
(運輸労働組合)	石原 伸策	高田 傳次郎	瀧澤 久三	大内 義正	米澤 涉
(高橋 泰吉)	丹羽 三之助	磯 市之助	安井 重次郎		水野 藤治郎